

「IT競争政策」についてのコメントと提案

* 7つの検討課題についてのコメントと提案です。よろしくお取り計らい下さい。

ネットワーク構造と電気通信事業の将来像

* 米Net2Phoneのソフト技術等で、まもなく音声もデータ、つまりVoIPの時代になると思います。

競争政策の基本的枠組み

* 加入者回線の「公道論」に賛成です。但し、この「公道」を利用しない通信事業者の出現も促すべきと考えます。

* NTTから通信機器メーカーや電線メーカーといった関連業界への「天下り」は即刻、止めさせるべきと思います。「天下り」は不透明な関係を常態化させ、公益を損ないがちです。

NTTグループの位置付けと公正競争の確保

* 本格的な競争を経ずにNTTが2年以内に米国と同レベルのサービスができるとしたら、筍子も韓非子もそしてビスマルクもびっくりするはずです。

ユニバーサルサービスの確保

* ファンドを創設し、加入者回線を「公道」にした上で、入札によりインターネットも含めたユニバーサルサービス事業会社を選定したらよいかと思えます。つまり、最安値入札事業者がユニバーサルサービスの最低必要費用と「名誉」を得るのです。

通信主権等の確保

* これも「人間性悪説」に基づいて判断すべきでしょうが、「総インターネットの時代」には、どこをどのように押さえたらいかがが私には分かりません。

電気通信事業における研究開発体制の在り方

* 「応用研究」は適当な単位で海外勢も含む民間企業(ドコモも民間企業で

す)に入札で売却してはいかがでしょうか?大きな国家収入につながります。一方、「基礎研究」は工技院や国立大学といった国立研究組織に組み入れてはいかがでしょうか?

利用者利益の確保方策

*重大なネット犯罪者には死刑、といった制度も必要と思います。

以上